あなたの心にジャストミート 3 月 28 日メッセージ

カナンの正体（絶対契約）（ヨシュア 4:19-24）

イスラエルの民が 40 年の荒野生活を終えてカナンの前に来ました。祭司が契約の箱を担いでヨルダン川に入ったところ、昔に紅海が分かれたのと同じように、ヨルダン川が分かれ、カナンに入るようになりました。そのとき、部族ごとに1つずつ、ヨルダン川の石をとってきて、記念碑として建てました。それは、のちに子どもたちに、約束通りに神様がカナンの地に導かれたことを伝え、神様の栄光をたたえるためでした。このことから、今日の私たちにどのようなメッセージになるか、また、信仰生活において、重要なことはなになのかを確認しましょう。

40 年の荒野生活ののち、カナンの地に入ったことは、神様の契約、みことばは、かならずそのとおりに成就するということをあきらかに教えています。それがカナンの正体です。約束の地カナンに入ることは不可能と思える状況でした。しかし、イスラエルの民は、約束どおりにカナンに入りました。神様の口から出たみことば、契約は、絶対に成就される絶対契約です。神様は人の思い、計算をひっくり返して、約束を成就されます。イスラエルの民は、400 年間のエジプトの奴隷だったので、カナンの地に入ることなど、考えることもできませんでした。出エジプトして、不信仰により歩むようになった荒野は、ふつうに生きていることができない自然環境です。それに加え、アマレクという敵が道をふさいでいました。また、いちばんの問題はイスラエルの内部の問題で、みんなことごとく不信仰、不平不満、偶像崇拝をするような、神様に敵対する品性、習性を持ち続けていました。このような状況で、約束どおりカナンに入ることは考えられません。しかし、実際には、カナンの地に入りました。神様の契約は絶対であり、人間の予想を超えて、どんなことがあっても、神様の力と神様の方法で成し遂げられるのです。これをイスラエルの民の胸に刻むようにされたのです。これが、カナンの正体です。私たちには、自分に縛られる習性があります。神の民は、自分をはるかに超える神様の契約、みことばに集中するようにしましょう。

カナンは約束の地でした。約束の地の主人公、キリストの契約、救いの契約は、必ず成し遂げられることに釘をさすことが、カナンの正体です。神様は、あらかじめメシヤが来られ（創 3:15）、不可能な罪人が、救われて神の子どもとなり、いのちを受けると約束してくださっていました。これ以外に希望、方法はありません。イスラエルの民は契約をもらったのですが、そのとおりになるとは思えませんでした。エジプトの奴隷になり、神様に敵対し、荒野では不信仰になり、カナンの地に入ることは、不可能に思えました。しかし、神様は約束どおりに成就してくださいました。こののち、イスラエル王国は南北に別れ、北はアッシリヤの戦略によって混血になり、南はバビロンの捕虜となり、偶像崇拝が激しくなる歴史が続きます。そして、400 年間の暗黒時代を迎えます。その中で、どのようにしてキリストが来られるのかと思うしかなかったのです。しかし、そこで処女がみごもって男の子を産む（イザヤ 7:14）という預言、そのとおりに成就して、マリヤがみごもり、イエス様が来られました（マタイ 1:23）。不可能に見える状況ばかりでしたが、それを超えて、神様は救いの神様の契約をそのとおり成就されました。聖霊によって、人の考えを裏切り、神様の方法で来られたのです（マタイ 1:20）。

神様は私たちに、なにを根拠、基準、頼りにして、人生の軸、力を何にして生きているのかと問われます。成就されるしかない、神様のみことば、神の口から出る契約に立っているのか、自分のレベルなのかを考えてみましょう。神様のみことばなら、必ずそのとおりに成就します。世のすべてが変わっても、神様の契約は変わりません。それが希望です。クリスチャンの希望、自負、よりどころは、神様の変わらない契約ならば、倒れることも、揺れることも、思い煩うこともなく、祈るようになります。そうすれば、すべてにまさる神様の平安が与えられます。倒れても、契約は変わらないので、握ればよいのです。それがカナンの正体です。イエス様は約束通りにキリストとして来られ、十字架で救いの契約をすべて完了され、三日目によみがえられました。そのイエス様を通して、いまは世界福音化の契約がなされていて、必ず成就します。それをあらかじめ知らせてくださったのがカナン入国です。ただそれを信じる信仰だけでよいのです。イエス・キリストは、復活されたのち、聖霊が臨まれると証人となると言われました（使徒1:8）。世界福音化は、神様（聖霊）の力によって成就します。先に救われた信者（教会）を証人として立てて成就されるのが神様の方法です。信者は、どんなに無知で弱く、汚れたように見えても、聖霊によって、世の中のだれもできない霊的いやしをして、次世代をサミットとして立て、弟子を立てます。それが神様の方法です。そのように、必ず世界は神様の方法で福音化されることをカナン入国を通してあらかじめ知らせてくださったのです。イエス・キリストによって、聖霊が宿る者は、この契約の中いる者だとわかるので、幸いな者となっていることを感謝することができます。

神様を知らない私は十字架とともに死にました。古い私、自我を捨てるように神様は言われます。それは、自己否定ではなく、絶対に成し遂げられる神様の契約の中に自分がいるので、自分の思いは邪魔だとわかることです。カナンの正体がわかり、恵みによって救い主を信じて受け入れて信仰を持ったのは、神様の恵みによるので、弱い自分、困難、聖書通りに伝道できないと落胆することなく、自分を正しくコントロールしましょう。イエス様を信じたことは、どういうことなのかを正しく理解しましょう。信じたということは、自分とは関係なく、すでに与えられた神様の契約が成就したことです。信じて、永遠のいのちが与えられるようになったのは、地の基が置かれる前からの神様の契約が成就したことなのです。自分がいま、イエス・キリストを信じているのは、神様の契約は邪魔されることなく、必ず成就することのあかしです。

ですから、自分の感情、計算、能力などにこだわることなく、神様の契約を握ることに集中して、残りの人生を生きていきましょう。信者にとって最高に重要なことは、神様のみことばを握ることです。理解できなくても、歴史を振り返り考えてみると、みことば成就のために協力した人はいないのに、神様のみことばは成就したことがわかるでしょう。神様は神様であり、ご自分の約束を必ず成し遂げられます。ですから、みことばをそのまま信じることに気を使いましょう。そのために、すでに成就しているみことばをそのとおりに信じる信仰を持ちましょう。そのとき、いやされます。すでにキリストによって成就されていることを認めて信じることにより、思いや考えがいやされて 24 時になります。そして、これから成し遂げられるみことばを信じる信仰の上に立ちましょう。どんなことがあっても、神様の完璧な導きの中を歩むようになります。ヨルダンや紅海があれば、奇跡を見る人生になります。それが 25 時の祝福です。どんなことがあっても、みことばを信じる信仰に立つように、礼拝を許されました。講壇からのみことばを確認して、個人の黙想で思い起こして告白しましょう。そのようにして、奇跡の中を歩む勝利者となりましょう。この祝福は、すでに私たちのものです。

1 部 － ヨシュア 4:19-24 カナンの正体（絶対契約）
なるほど／ カナンに到着したことは、神の契約は絶対に成就されることを確認させて、キリストの約束と世界福音化の絶対成就を予言している。
ならば／ 自分レベルと感情を越えて、成就された御言葉と成就される御言葉を信じる信仰に立って、残りの人生を勝利しよう。
2 部 － コロサイ 1：1-8 信徒への前提
なるほど／ 信徒を見るとき、先に神様に感謝することが出来れば、丁寧な姿勢と祝福の心で接するようになる。
ならば／ 信徒に対して感謝が前提になっているかを点検してみよう。 神の祝福を伝える使いであることを常に覚えていよう。